

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.14
2006.12.

オーストラリア シドニー

柘さ
榴くろ

「ルカによる福音書」にはイエス様の誕生について他の福音書にはないほどロマンチックに記載されています。この「ルカによる福音書」の1-2章に書かれてある景色によってクリスマスのおさまさまな行事が生まれました。さて、イエス様の誕生に先立って、マリア様のいとこであるエリザベスも子供ができませんでしたが、高齢であるにもかかわらず、天使ガブリエルの予言どおり赤ちゃんが生まれ、「ヨハネ」と名づけられました。このヨハネはイエス様に洗礼を授けるという重要な役割を担っていました。そしてヨハネから洗礼を受けたイエス様は30歳から3年間ほどユダヤの地方を中心に活動されました。ここでヨハネは人々のために「預言者」として働き、「イエス様に洗礼を授ける」という重要な働きをしました。しかしその後、ヘロデ大王によって殺されてしまいました。イエス様も3年間という短い期間ではありませんが、その間になされた数多くの奇跡を中心に人々に平安を与え、最後には十字架につけられてしまいます。このようにいくら神様の意になつた方々であっても、われわれから見れば如何にも不幸なむごい結果となつて終わっています。このようないふことも世界中に見られます。理不尽な、不条理な、理解できない、われわれからすれば「不幸」の極致であるように思えても、神様にとっては、また時にはその人にとっては幸せであることがあります。今、私たちにその場ではわからない、理解できない不幸なことに思えても、時間がたてば、場所が変われば、立場が変われば、意味のわかることがあります。それを信じたいものです。

…「私の思いはあなたたちの思いと異なり、私の道はあなたたちの道と異なり」と主は言われる。…」



生殖医療の最近の環境

院長 宇津宮 隆史

不妊治療、すなわち生殖医療では最近「代理母」や他人の胚や卵子、精子を用いた治療についての話題が多く、それらの倫理問題と少子問題と不妊治療が一緒になって論じられており、混乱しています。ここで私たちは体外受精まで含めた一般的な不妊治療と、他人の精子や卵子を用いた場合や代理母などの倫理問題は明確に分離して考えなくてはならないと思います。これら代理母など倫理問題を起こす方法は不妊治療の最先端技術を「利用」した結果であって、私たちの行っている一般的な不妊治療とはまったく関係のないこととはっきり区別しておかねばなりません。代理母の問題は、それでしか母になれない方々にとっては深刻なことでしょうが、私はそれでもケースバイケースだと思います。たとえば生まれつき子宮のない方には一定の条件化で容認できると思いますし、妊娠・分娩に伴った疾患で子宮を摘出した場合、他人に代理母をお願いするのは、同じ大きな危険を他人に負わせる事となるのは容易に予測できますので容認できないと思います。これらについては日本産婦人科学会がいうように国民の代表である国のレベルで決めるべきで、いち医学分野である産婦人科学会にその重責を担わせることはできないと思います。

さて、今回、私たちが行ってきた不妊治療の保険適用運動が広く認識された結果と思いますが、12月6日の国会「参議院少子高齢化社会に関する調査会」に私が「参考人」として招請されました。このとき、代理母についても議論されるようですが、上記のように論点を明確に分け、現在40万人の不妊治療をうけている方々、特に年間10万人の一般的な体外受精を受けている皆さんの抱えている問題と私たち医療側の要求をしっかりと主張してきたと思います。

先日の日本生殖医学学会総会ではシンポジウムのひとつに「不妊治療患者さんへの看護心理的援助」という議題で議論がなされ、その司会に私が任命されました。患者さんへの看護心理的援助に関してはセント・ルカから1993年4月(といえは開院10ヵ月後)にすでに学会発表を行っております。そのころは学会でも「その他」のセッションに組み込まれていましたが、今では堂々といくつものセッションが生まれ、シンポジウムまでなされるようになって来ました。このようにこの生殖医療の分野は単に医学的側面だけでなく、患者さんの精神的側面、社会的側面、経済的側面などそれぞれの重要なポイントにより成り立っています。それらを患者さんやスタッフとともにまんべんなく検討し、対処していきたいと思います。

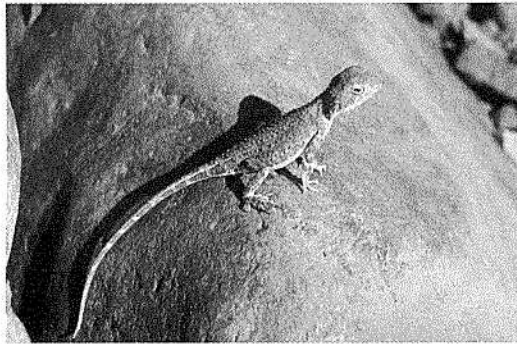
このように不妊診療にはさまざまな角度からのアプローチが大切です。単に治療だけにとどまらず、広い視点で考えて生きたいと思います。患者さんも今までとは違い、自分で主張すべきことにたいしては自分で行動を起こすべき時期が来たといつてよいでしょう。

オーストラリア不妊学会 (FSA)

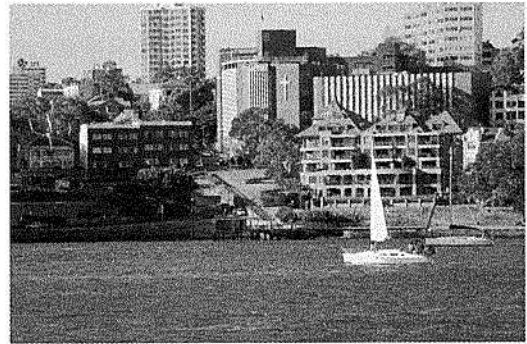
2006年10月23日～ シドニーにて開催

オーストラリア不妊学会に参加させていただきました。学会は、ナース、カウンセラーの部門がきちんと確立されていました。研究部門では日本のレベルの高さを痛感し、日本でこの分野の仕事をさせてもらっていることを誇らしく思いました。

その後、オーストラリアの中心(世界の中心で…)でも有名なエアーズロックに行かせて頂きました。この一枚岩は砂漠の中にぽつんとありました。また、この岩はアボリジニたち(先住民)の聖地でもあり(なので登山はしませんでした)、ただ岩が大きくてきれいというだけでなく、アボリジニの歴史を学びながら散策することで、このきれいな景色の奥にアボリジニたちの信仰と生活があるからこそ、この美しさが保たれているんだ、と思うと本当に貴重な体験をさせていただいたと思っています。



エアーズロックの住民



シドニーの湾岸風景



久住山に登ってきました

2006年10月15日



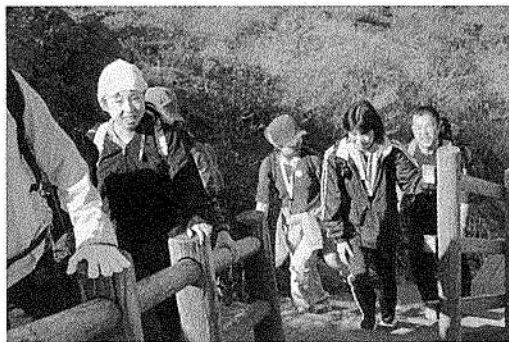
院長先生をはじめ職員有志で久住山に登りました。

早朝からみんなで集合し、シャンデリア付きの貸切バスに乗って出発しました。

高速にのって湯布院を通ったとき、朝霧が見れたことは初めてでとても感動しました。

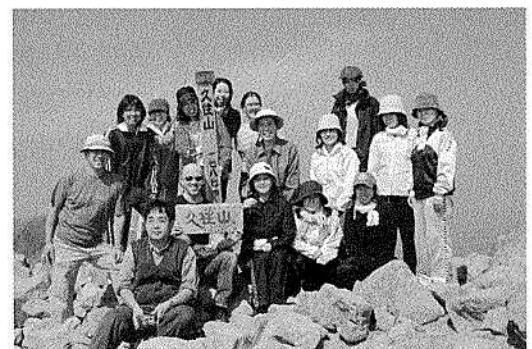
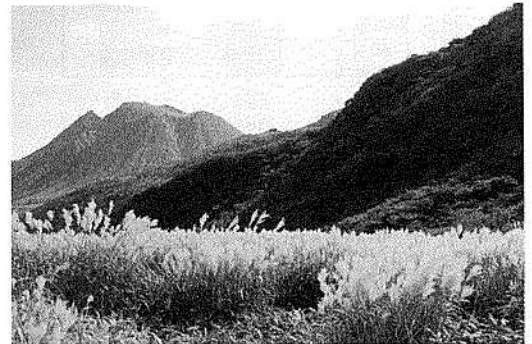
久住山は、ススキや紅く染まった木々はきれいで、普段の生活では感じられない空気を吸ってリフレッシュできました。頂上からの景色もまた美しく感慨深いものでした。

今回の登山が初挑戦な人も多く、不慣れな山道には苦労しましたが、とてもよい経験ができました。



登山は初めての経験でした。登る前はとても不安で、本当に登れるか不安いっぱいでした。かなりきつかったですが、景色に感激しました。

(研究室 S藤H子)



研究室だより

当院において妊娠した児の出生調査

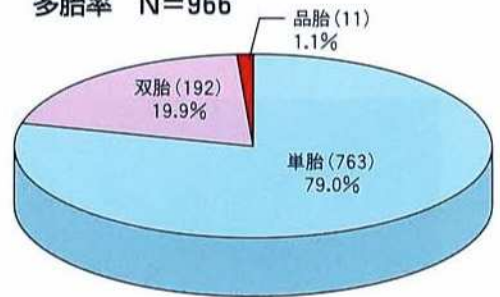
研究室：後藤 香里

排卵誘発剤の使用や、体外受精の発展により多胎妊娠の頻度は年々増加の傾向を示しています。

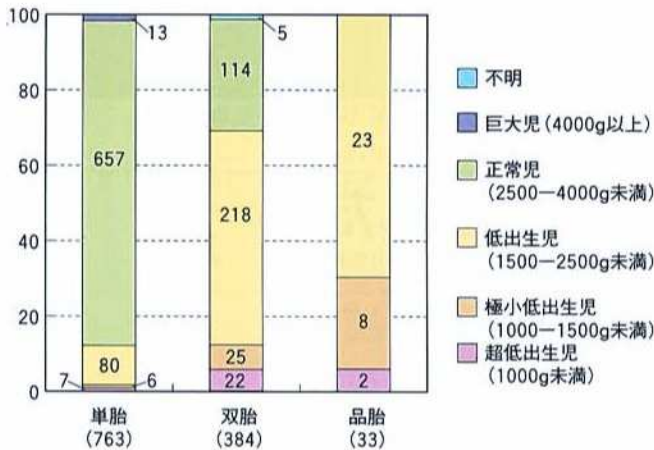
治療の発展は望ましくもありますが、その一方、多胎妊娠の増加に伴う周産期異常の増加も新たな緒問題を提起しています。

そこで今回私たちは当院で体外受精をうけて妊娠した場合の多胎発生頻度を把握し、出産予後の調査を行ないました。

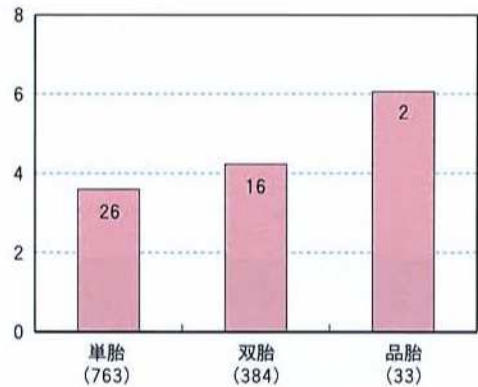
多胎率 N=966



出生体重 N=1180



異常児出生率 N=1180



当院での多胎発生頻度は約 20%であり、単胎→双胎→品胎に従い低出生体重児が増加し、異常児出生率も増加の傾向を示しています。

体外受精での移植胚数の決定には慎重にならなければならないことが改めて分かりました。



マウスお世話係から



研究室：那須 恵



運動不足解消のため、日々トレーニング中!!

駐車場の奥に、小さなプレハブがあるのをご存知ですか？

今日は、そこにいる、このマウス達についてお話しします。

現在、このプレハブには約 30 匹のマウス達が住んでいます。この子達は、通常、寿命は 1 年から 2 年と言われ、生後 2 ヶ月で一応、大人の仲間入りです。

一般的には、新薬の研究や、培養液などの安全検査に使用されています。当院では、現在使用している凍結保存法の研究として使用されていました。

現在では、手術時に使用する麻酔が胚に与える影響を調べるための実験で使用しています。

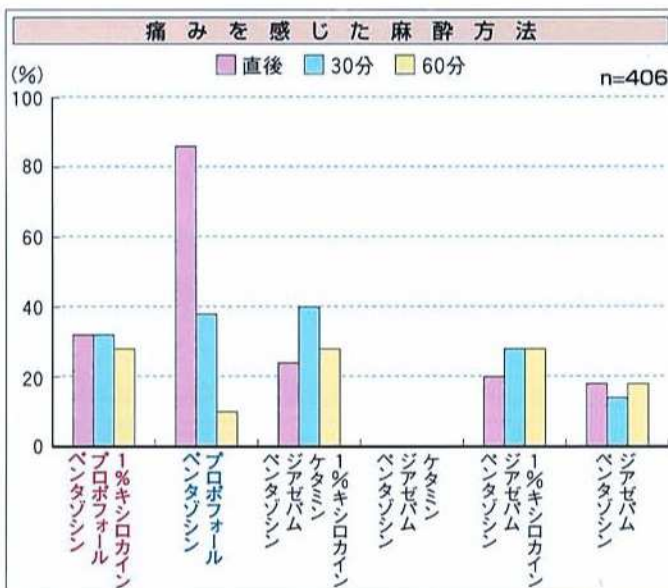
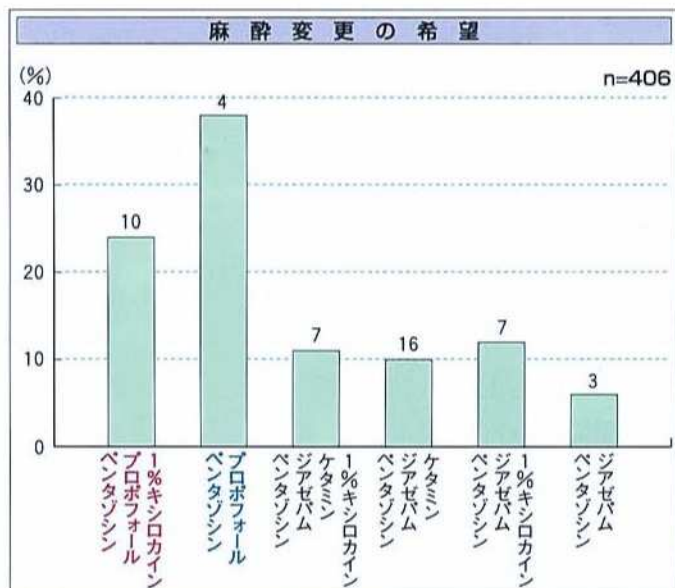
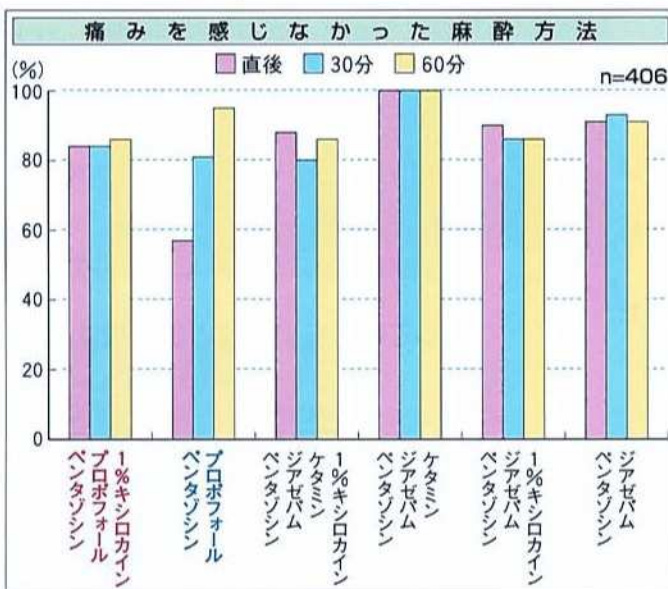
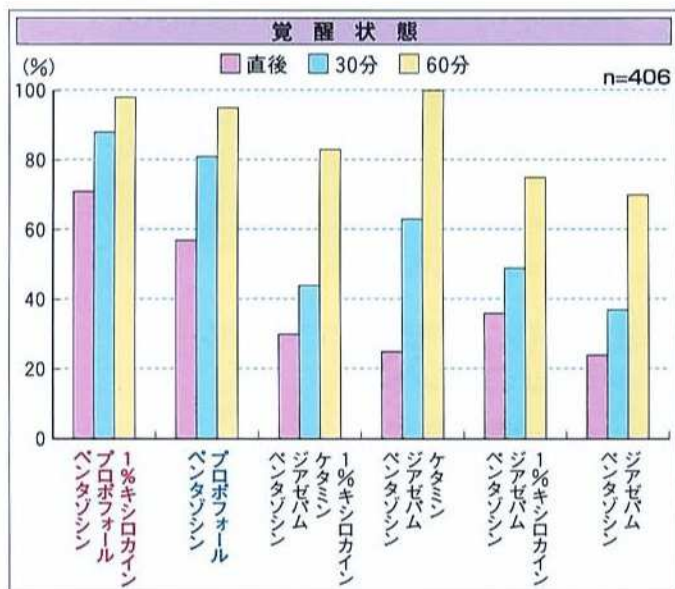
私たちの卵子が使われています☆

看護部だより

採卵時における麻酔の検討

看護部 関 こすえ

当院では、体外受精、顕微授精、凍結胚移植などの生殖補助医療(ART)を年間約750例その内、採卵を550例行っています。ARTに入るにあたり、患者さんは色々な不安を抱えています。今回は採卵時における痛みや恐怖心などの不安について、採卵時における麻酔の検討を調査しましたので報告致します。(期間2005年8月~2006年9月まで)



- 以前、採卵時の麻酔は、ケタミンを使用していました。しかし、ケタミンは入眠傾向が強く、麻酔の効果も持続するという結果がでました。一方、プロポフォールを使用した麻酔では、覚醒は良いが、意識が鮮明なことにより、痛みを感じやすいという結果でした。
- 痛みでは、ベンタゾシン・プロポフォールに1%キシロカインを加えたことで、痛みが軽減されました。
- プロポフォールは、覚醒も良く副作用も少ないことから、患者さんに与える侵襲は少ないと思われます。よって今後も調査を引き続き行い、患者さんの希望を考慮し、麻酔の検討をしていきたいと思ひます。

心理相談室より

臨床心理士
生殖心理カウンセラー 上野 桂子

どうぞお気軽にご相談ください。

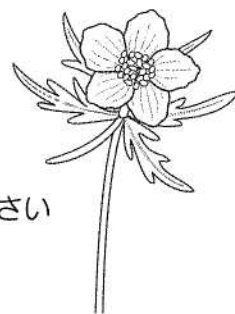
カウンセリング？

私の悩みなんてたいしたことない、何を話せばいいかわからない、
こんなことで悩んでいるなんて恥ずかしい、自分の弱みは見せたくない、
別に必要ない、相談して解決するとは思えない、なんとなくいやだ、
知らない人と話すのは苦手、…などなど。

自分でも気づかない内に、ストレスが溜まっていることがあるかもしれませんね

あまり難しく考えないで、治療のこと、夫婦のこと、人間関係
など少し気になることでも、一度話に来てみませんか？
大きな悩みになる前に小さな芽を摘むことができるかもしれません

相談してみてもいいなと思う方は、看護師、受付スタッフに声をかけてください



心理士相談 …… 火、金、土曜日（予約制）
何でも相談 …… 随時、主に土曜日 午後（予約制）
院長相談 …… 月、水、金 夕方（予約制）
外来相談 …… 随時、外来の相談係り

看護師又は受付に
申し出て下さい。

受付より

皆さんこんにちは！今回の受付からはいつも元気な梅田が担当します。

受付の中では一番若く、暗記が得意です。患者さんと接する事が大好きですので、どんどん話しかけて下さい。

領収証		1/1日	分類	診療行為	点数
IB-1 株					
セント・ルカ産婦人科 院長 宇津宮 啓史 平塚9-997					
診療日	2006年10月20日	大分県津守町4-5-8			
お支払日	2006年10月26日	TEL 097-968-0009 FAX 097-968-0289			
分類	診療行為	点数			
*****	【保険】				
診察	再診料	71			
検査	超音波検査 (経膈断層法) (調理学)	500			
	子宮頸管粘液検査	105			
	子宮頸管粘液検査	34			
検査	尿・血液等検査(調理学)	49			
検査	メイトアップ検査(調理学) 3時間30分	9			
検査	外来内服・電図検査(調理学)15分	42			
検査	処方料(調理学)	10			
その他	薬調剤提供料				
*****	【保険合計】	(総点数)			
		570			
	負担率	3割			
	金額	2,610			
総合計					¥2,610
備考①金					¥2,610
備考②金					¥0

備考：(注)領収証の再発行は致しません。
大切に保管してください。

さて、現在の受付ですが、会計システムの改良に取り組んでいます。従来の領収書は感熱紙使用の為、保管に適さず、皆さんにご迷惑をお掛けするという欠点がありました。今回は消えない領収書、今までより見やすい領収書を目指して作成しています。

11月には患者さんにお渡しできる予定だったのですが、もう少し時間が掛かりそうです。もうしばらく保管にご注意ください。新領収書はこのようなになっています。

みなさん、お楽しみに☆

情報処理室より

♡ ルカドメイン取得しました ♡

セント・ルカのHPが引っ越ししました。
引っ越しに伴い、内容もリニューアルしました。

まだまだ工事中のサイトも多いですが、日本一患者さんに寄り添えるHPを目指して、外部業者さんに委託せず、情報処理室で作成しています。ルカのカラーを前面に出した優しいホームページにしたいと思いますので、皆様のご意見・ご要望をどんどんHPからお寄せください。

休診の案内や、各種講座の案内・報告などは、Clinic サイトの中の"診療予定"や"講座のお知らせ" "サークルのお知らせ"に掲載しています。携帯サイトにも診療予定などを掲載しておりますので、是非ご利用ください。

HP → <http://www.st-luke.jp/>
携帯サイト → <http://www.st-luke.jp/imode.htm>



管理人のスマイルです。
少しでもみなさんのお役にたてるよう、そしてみていただいたみなさんの心があつたくなるようなホームページを目指していつも笑顔で頑張っています。

QR コードは
コチラ



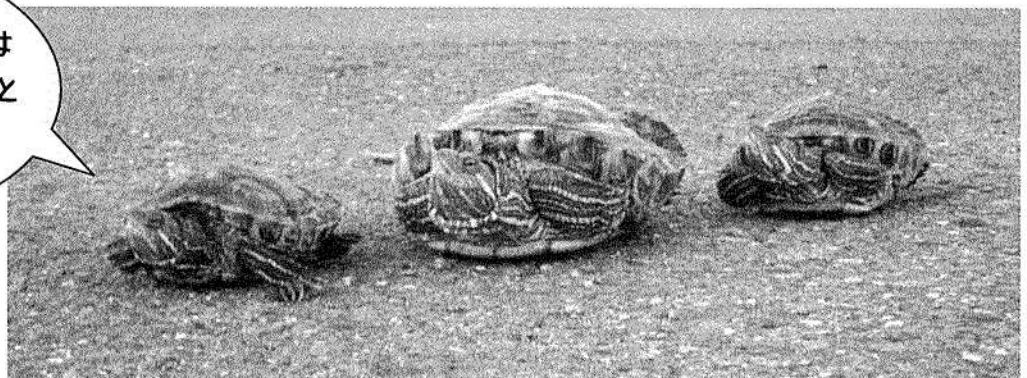
はじめまして!

みなさんは、ぼくたちのことをご存知ですか?ぼくたちは、院長宅のベランダで飼われている、カメ三兄弟です。

ポクトツとした、この無表情なぼくたちになんともいえない愛嬌を感じると言ってくれる人もいますが、ぼくたちのことを爬虫類と勝手に分類して怖がっている人もいます。



でも大丈夫!ぼくたちは
院長先生のことをずっと
慕っているもん……。



みなさん、よろしくね!

2006年 後期を振り返って

<p>07.01 第110回 体外受精教室 参加者42名 参加(佐藤久、後藤裕、酒井、齊高)</p> <p>07.01 第3回 第4期オリブの会 参加者7名</p> <p>07.04 ISO9001維持審査 NQA-Japan 岡角氏、中越氏ご来院</p> <p>07.05 Sarah Baseデモンストレーション レディースクリニック京野(宮城) <工藤由></p> <p>07.07 金沢医科大学産科婦人科学講座(石川) 広崎奈津子先生ご来院</p> <p>07.08 第27回「赤ちゃん今ならきつと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者69名 講師(指山(師長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加(工藤由、足立小、渡邊、佐藤久、平井、桑野、後藤裕、河野、篠田、門屋)</p> <p>07.12 大分県立看護科学大学講義 講師(院長) 参加(平松、工藤由、佐藤久、佐藤晶、桑野、後藤裕、工藤美、足立直、恵良、原井) 講義:「不妊症講座」(院長)</p> <p>07.15 生殖心理カウンセラー事例検討会(東京) 参加(上野)</p> <p>07.15 第5回 生殖バイオリソロジー東京シンポジウム(東京) 参加(那須、熊迫、院長)</p> <p>07.17 A-PART 日本支部学術講演会2006(東京) 参加(那須、熊迫、上野、院長)</p> <p>07.18 防災訓練(地震・停電避難訓練)</p> <p>07.25 第89回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>07.29 第111回 体外受精教室 参加者49名 参加(佐藤久、酒井、齊高)</p> <p>07.31 片岡レディースクリニック(熊本) 畑山雅実さん研修のためご来院</p> <p>07.31 第3回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 大塚三千代先生(大分大学医学部附属病院 看護部長)、 緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、 畑山雅実先生(セント・ルカ産婦人科 看護部長)、 野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師)</p> <p style="text-align: right;">(あいうえお順)</p>	<p>10.16 東北大学大学院医学系研究科(宮城) 有馬隆博先生ご来院・ご指導</p> <p>10.19 ISO9001 日本 LCA 田中繁充氏ご来院</p> <p>10.21 第114回 体外受精教室 参加者59名 参加(酒井、齊高)</p> <p>10.21 第12回 第3期オリブの会 参加者3名</p> <p>10.22 25th Annual Scientific Meeting of the Fertility Society of Australia 参加(院長) ポスター発表:「The Efficacy of Transfer the Embryos Frozen-Thawed Twice」(那須恵) 「A study of effect of support group intervention on psychological stress and loneliness of infertility patients」(上野桂子)</p> <p>11.01 東北大学先進医学工学研究機構(山形) 阿部宏之先生研究のためご来院</p> <p>11.04 第28回「赤ちゃん今ならきつと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者57名 講師(指山(師長)、上野(臨床心理士)、院長、 おがた泌尿器科医院(緒方俊一先生) 参加(梅田、足立小、城戸、桑野、河野、篠田)</p> <p>11.04 アルメイダ TQM 発表会 参加(熊迫、長木、岡、松元)</p> <p>11.07 第93回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>11.07 微量タンパク質解析セミナー(福岡) 参加(佐藤久)</p> <p>11.07 Sarah Base デモンストレーション 東京 HART クリニック(東京) <工藤由></p> <p>11.08 Sarah Base デモンストレーション ファティリティ クリニック東京(東京) <工藤由></p> <p>11.09 第51回 日本生殖医学会総会・学術講演会(大阪) 参加(指山、院長) シンポジウム: ART 不成功時の看護的・心理的援助(産科 院長) 「治療困難例に対する心理的援助のサポート」 〜加齢患者に対する援助を中心に〜(上野桂子) 〜加齢患者に対する援助を中心に〜(上野桂子) 〜加齢患者に対する援助を中心に〜(上野桂子)</p> <p>発表:「凍精方法および体外培養期間と流産組織の染色体異常の関係」(城戸京子)</p> <p>ポスター発表:「電気化学的呼吸能計測によるヒト胚のクオリティー評価」(那須恵) 「当院において妊娠した児の出生調査」(後藤香里) 「不妊治療中における男性患者の配偶者間生殖補助医療に対する意識の検討」(恵良郁絵) 「不妊治療終了に対する患者の意識調査」 「40歳以上の不妊症患者を対象としたサポート・グループの取り組み〜グループプロセスと有用性について」(上野桂子)</p> <p>11.09 第51回 日本生殖医学会総会・学術講演会 Sarah Base プレゼンテーション(平松、工藤由)</p> <p>11.10 日本生殖医学会心理カウンセリング学会役員会(大阪) 参加(上野、院長)</p> <p>11.14 ISO9001 マネジメントレビュー 日本 LCA 田中繁充氏ご来院</p> <p>11.15 Sarah Base デモンストレーション 広島 HART クリニック(広島) <工藤由></p> <p>11.16 第37回 大分市医師会学会 参加(平松、足立小、越名、渡邊、佐藤久、城戸、後藤香、熊迫、長木、桑野、 後藤裕、酒井、河野、工藤美、二宮、松元、齊高、赤嶺、篠田、指山、上野、 発表:「成人女性卵子発育過程におけるインプリント遺伝子の DNA メチル化獲得時期の解析」(佐藤晶子) 「ヒト卵子体外成熟培養における最速採卵時期の検討」(佐藤千賀子) 「当院における体外受精教室の現状」(足立直美) 「採卵時における麻酔の検討」(関こずえ)</p> <p>11.18 第115回 体外受精教室 参加者22名 参加(佐藤晶、桑野、酒井、齊高)</p> <p>11.18 第7回 第4期オリブの会 参加者9名</p> <p>11.19 第106回 九州医師会学会 第3分科会 産婦人科学会 シンポジウム: 生殖医療の基礎と臨床「生殖医療と当院の取り組み」(院長)</p> <p>11.21 第3回 日本哺乳動物卵子学会培地開発委員会(東京) 参加(院長)</p> <p>11.23 JISART ガイドライン改定打合せ(東京) 参加(院長)</p> <p>11.25 第20回 新患教室</p> <p>11.28 新人看護職員教育担当者講習会(福岡) 参加(篠田、門屋)</p> <p>12.02 第16回 JISART 理事会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.02 JISART 忘年会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.06 参議院少子高齢社会に関する調査会(東京) 参考人出席(院長) 参加(工藤由)</p> <p>12.12 第94回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>12.16 第3回 ご夫婦二人だけの人生を歩かれた元患者さんのお話 大分県立看護科学大学講義 講師(上野、院長) 講義:「不妊症講座〜心理とサポート〜」(上野桂子) 「不妊症講座」(院長)</p> <p>12.25 クリスマス会</p>
<p>08.01 蛍光顕微鏡フィルターについての勉強会 金沢医科大学(石川) 参加(佐藤晶、大津)</p> <p>08.05 第4回 第4期オリブの会 参加者8名</p> <p>08.05 無精子症と診断されたカップルに寄り添うケア(東京) 参加(工藤美、恵良、上野)</p> <p>08.05 AID 討論会(東京) 参加(工藤美、恵良、上野、院長)</p> <p>08.07 片岡レディースクリニック(熊本) 浦川真由子さん研修のためご来院</p> <p>08.08 第90回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>08.09 ISO9001 日本 LCA 田中繁充氏ご来院</p> <p>08.12 第17回 新患教室 参加者54名 参加(佐藤久、熊迫、河野、篠田、指山)</p> <p>08.12 東北大学大学院医学系研究科 有馬隆博先生との共同実験(宮城) 参加(佐藤晶)</p> <p>08.19 第112回 体外受精教室 参加者38名 参加(桑野、足立直、齊高)</p> <p>08.26 第11回 第3期オリブの会 参加者2名 アロマセラピー講師 中村亜紀子先生ご来院</p> <p>08.27 第13回 セント・ルカセミナー 講師 阿部 宏之先生(東北大学先進医学工学研究機構助教、 山形大学大学院理工学研究科客員教授) 「受精卵呼吸測定装置の開発と生殖補助医療への応用」 講師 荒木 康久先生(高度生殖医療技術研究所所長) 「受精障害克服の試み〜卵子活性化によるレスキュー」 講師 尾見 保幸先生(MIO FERTILITY CLINIC 院長) 「ヒト初期胚発生過程の動的解析に基づく新知見」 講師 森 崇英先生(備前運道クリニック不妊センター長、京都大学名誉教授) 「生殖医療の倫理」</p>	<p>11.18 第115回 体外受精教室 参加者22名 参加(佐藤晶、桑野、酒井、齊高)</p> <p>11.18 第7回 第4期オリブの会 参加者9名</p> <p>11.19 第106回 九州医師会学会 第3分科会 産婦人科学会 シンポジウム: 生殖医療の基礎と臨床「生殖医療と当院の取り組み」(院長)</p> <p>11.21 第3回 日本哺乳動物卵子学会培地開発委員会(東京) 参加(院長)</p> <p>11.23 JISART ガイドライン改定打合せ(東京) 参加(院長)</p> <p>11.25 第20回 新患教室</p> <p>11.28 新人看護職員教育担当者講習会(福岡) 参加(篠田、門屋)</p>
<p>09.02 第18回 新患教室 参加者48名 参加(熊迫、河野、赤嶺、篠田、指山)</p> <p>09.02 JISART 倫理委員会(東京) 参加(上野)</p> <p>09.04 山形大学大学院医学系研究科看護専攻 兵藤秀子先生 アンケート収集の高ご来院</p> <p>09.09 第5回 第4期オリブの会 参加者7名</p> <p>09.12 第91回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>09.15 日本心理臨床学会第25回大会(大阪) 参加(上野)</p> <p>09.16 第113回 体外受精教室 参加者47名 参加(桑野、酒井、齊高)</p> <p>09.20 第15回 JISART 理事会(軽井沢) 参加(院長)</p> <p>09.20 第3回 JISART 看護教育セミナー(軽井沢) 参加(門屋、指山)</p> <p>09.21 第24回 日本受精着床学会総会・学術講演会(軽井沢) 参加(院長) 発表:「成人女性卵子発育過程におけるインプリント遺伝子の DNA メチル化獲得時期の解析」(佐藤晶) 「ヒトIVMにおける採卵時末梢血中ホルモン濃度と卵子発生能との関係」(佐藤千賀子) 「再凍結胚移植の有効性に関する検討」(熊迫) 「体外受精と精子 DNA 損傷率についての検討」(長木) 「ヒト初期胚の胚球サイズと核の有無の関係」(大津)</p>	<p>12.02 第16回 JISART 理事会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.02 JISART 忘年会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.06 参議院少子高齢社会に関する調査会(東京) 参考人出席(院長) 参加(工藤由)</p> <p>12.12 第94回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>12.16 第3回 ご夫婦二人だけの人生を歩かれた元患者さんのお話 大分県立看護科学大学講義 講師(上野、院長) 講義:「不妊症講座〜心理とサポート〜」(上野桂子) 「不妊症講座」(院長)</p> <p>12.25 クリスマス会</p>
<p>09.21 大分市医師会産婦人科臨床セミナー 参加(桑野、松元、原井)</p> <p>09.23 A-PART 日本支部卵子凍結ワークショップ(東京) 参加(熊迫)</p> <p>09.30 第43回 九州首市医師会連絡協議会(鹿児島) 参加(院長)</p> <p>09.30 JISART 倫理委員会(東京) 参加(上野)</p>	<p>12.02 第16回 JISART 理事会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.02 JISART 忘年会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.06 参議院少子高齢社会に関する調査会(東京) 参考人出席(院長) 参加(工藤由)</p> <p>12.12 第94回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>12.16 第3回 ご夫婦二人だけの人生を歩かれた元患者さんのお話 大分県立看護科学大学講義 講師(上野、院長) 講義:「不妊症講座〜心理とサポート〜」(上野桂子) 「不妊症講座」(院長)</p> <p>12.25 クリスマス会</p>
<p>10.06 第24回 大分市医師会産婦人科〜内分泌・不妊・代謝〜懇話会 参加(平松、足立小、梅田、越名、渡邊、佐藤久、大津、長木、桑野、後藤裕、 酒井、松元、岡、工藤美、吉丸、篠田、原井、指山、上野) 「ピル〜新ガイドラインを読み解く〜」(山形大学医学部 女性医学分野教授 倉智博久先生)</p> <p>10.06 京野レディースクリニック(宮城)より Sarah Base 見学のため、 中條友紀子さん、佐々木恵子さん、相澤成枝さんご来院</p> <p>10.07 第29回 ガーネットサークル OG1名、参加者8名</p> <p>10.07 第2回 日本哺乳動物卵子学会培地開発委員会(東京) 参加(院長)</p> <p>10.08 JISART 培養室部門ガイドラインの見直し会議(大阪) 参加(長木)</p> <p>10.10 第92回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>10.14 第19回 新患教室 参加者45名 参加(後藤香、後藤裕、河野、篠田、指山)</p> <p>10.14 第6回 第4期オリブの会 参加者7名</p> <p>10.14 第9回 日本 IVF 研究会 参加(城戸、大津)</p> <p>10.15 セント・ルカ産婦人科レクリエーション 久住聖山&観光</p>	<p>12.02 第16回 JISART 理事会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.02 JISART 忘年会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.06 参議院少子高齢社会に関する調査会(東京) 参考人出席(院長) 参加(工藤由)</p> <p>12.12 第94回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>12.16 第3回 ご夫婦二人だけの人生を歩かれた元患者さんのお話 大分県立看護科学大学講義 講師(上野、院長) 講義:「不妊症講座〜心理とサポート〜」(上野桂子) 「不妊症講座」(院長)</p> <p>12.25 クリスマス会</p>
<p>10.07 第29回 ガーネットサークル OG1名、参加者8名</p> <p>10.07 第2回 日本哺乳動物卵子学会培地開発委員会(東京) 参加(院長)</p> <p>10.08 JISART 培養室部門ガイドラインの見直し会議(大阪) 参加(長木)</p> <p>10.10 第92回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>10.14 第19回 新患教室 参加者45名 参加(後藤香、後藤裕、河野、篠田、指山)</p> <p>10.14 第6回 第4期オリブの会 参加者7名</p> <p>10.14 第9回 日本 IVF 研究会 参加(城戸、大津)</p> <p>10.15 セント・ルカ産婦人科レクリエーション 久住聖山&観光</p>	<p>12.02 第16回 JISART 理事会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.02 JISART 忘年会(大阪) 参加(院長)</p> <p>12.06 参議院少子高齢社会に関する調査会(東京) 参考人出席(院長) 参加(工藤由)</p> <p>12.12 第94回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>12.16 第3回 ご夫婦二人だけの人生を歩かれた元患者さんのお話 大分県立看護科学大学講義 講師(上野、院長) 講義:「不妊症講座〜心理とサポート〜」(上野桂子) 「不妊症講座」(院長)</p> <p>12.25 クリスマス会</p>

妊娠報告件数

(2006.6.1~2006.11.30)

体外受精、顕微授精等

74件

*

その他(体外受精以外)

89件

計 163件

編集後記

今年も、色んなことがあった一年でした。年々、院内のレクリエーションが増え、今年はルカ始まって初の、久住登山がありました。先生をはじめスタッフ皆の親睦がさらに深まり、恒例化しそうな予感……。

また、今年も国内外へ学会発表を多くさせていただきました。毎年研究テーマは尽きることはありません。来年もたくさん勉強させていただきたいと思います。(Y.K)



エアーズロックにて